

(表4)主要授業科目の担当状況(学士課程)

法学部 法律学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
法学部	法律学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	359.5	359.5
			兼任担当科目数(B)	0	96.5	96.5
			専兼比率(%)	0.0%	78.8%	78.8%
		教養教育	専任担当科目数(A)	26	216.8	242.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	37.0%
		語学教育	専任担当科目数(A)	8	68	76
			兼任担当科目数(B)	132	341	473
			専兼比率(%)	5.7%	16.6%	13.8%

法学部 法律学科 法律職コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
法学部	法律学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	359.5	359.5
			兼任担当科目数(B)	0	98.5	98.5
			専兼比率(%)	78.5%	78.5%	0.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	26	216.8	242.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	37.0%	34.4%	100.0%
		語学教育	専任担当科目数(A)	8	68	76
			兼任担当科目数(B)	132	341	473
			専兼比率(%)	13.8%	16.6%	5.7%

法学部 法律学科 企業法務コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
法学部	法律学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	359.5	359.5
			兼任担当科目数(B)	0	96.5	96.5
			専兼比率(%)	0.0%	78.8%	78.8%
		教養教育	専任担当科目数(A)	26	216.8	242.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	37.0%
		語学教育	専任担当科目数(A)	8	68	76
			兼任担当科目数(B)	132	341	473
			専兼比率(%)	5.7%	16.6%	13.8%

法学部 法律学科 現代社会コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
法学部	法律学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	359.5	359.5
			兼任担当科目数(B)	0	98.5	98.5
			専兼比率(%)	0.0%	78.5%	78.5%
		教養教育	専任担当科目数(A)	26	216.8	242.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	37.0%
		語学教育	専任担当科目数(A)	8	68	76
			兼任担当科目数(B)	132	341	473
			専兼比率(%)	5.7%	16.6%	13.8%

法学部 自治行政学科

学部	学科		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
----	----	--	------	--------	---------

法学部	自治行政学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	354.5	354.5
			兼任担当科目数(B)	0	107.5	107.5
			専兼比率(%)	0.0%	76.7%	76.7%
		教養教育	専任担当科目数(A)	26	184.7	210.7
			兼任担当科目数(B)	0	372.3	372.3
			専兼比率(%)	100.0%	33.2%	36.1%
		語学教育	専任担当科目数(A)	8	68	76
			兼任担当科目数(B)	132	341	473
			専兼比率(%)	5.7%	16.6%	13.8%

[注]

- この表は、大学設置基準第10条第1項及び専門職大学設置基準第32条第1項にいう「教育上主要と認める授業科目（主要授業科目）」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 原則として学科単位で記入してください。
- 履修者の有無にかかわらず、カリキュラム上設定された科目はすべて対象となります。
- ここでいう「専任担当科目数」には、他学部、研究科（又はその他の組織）の専任教員による兼任科目も含めてください。
- 大学の設定する区分に応じて、「教育区分」の名称を記入してください。なお、専門職大学及び専門職学科については、専門職大学設置基準第13条又は大学設置基準第42条の9に定める科目を置くことになっているため、これを踏まえながら作表してください。
- 課程を前期・後期で分けている専門職大学にあつては、学科ごとにさらに前期と後期で分けて作表してください。
- 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- Semester制、クォーター制等を採用している場合であっても、通年単位で作成してください。
- 1クラスのみ開講される科目を複数の教員が担当する場合は、専任教員と兼任教員の人数比をもとに記載してください。
例①：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任担当科目数0.8、兼任担当科目数0.2
例②：兼任のみ5人で担当の場合は、兼任担当科目数1.0。
- 同一科目を複数クラス開講している場合の計算方法は下記の通りです。
①同一教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1.0。
②複数教員による場合→専任教員と兼任教員の人数比による。例えば、すべて専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、専任教員と兼任教員が1名ずつで担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5。

(表4)主要授業科目の担当状況(学士課程)

経済学部 経済学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経済学部	経済学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	392.5	392.5
			兼任担当科目数(B)	0	201.5	201.5
			専兼比率(%)	0.0%	66.1%	66.1%
		教養教育	専任担当科目数(A)	43	216.8	259.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	38.6%
		語学教育	専任担当科目数(A)	4	68	72
			兼任担当科目数(B)	144	341	485
			専兼比率(%)	2.7%	16.6%	12.9%

経済学部 経済学科 現代経済専攻

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経済学部	経済学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	304.5	304.5
			兼任担当科目数(B)	0	177.5	177.5
			専兼比率(%)	0.0%	63.2%	63.2%
		教養教育	専任担当科目数(A)	43	216.8	259.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	38.6%
		語学教育	専任担当科目数(A)	4	68	72
			兼任担当科目数(B)	144	341	485
			専兼比率(%)	2.7%	16.6%	12.9%

経済学部 経済学科 現代経済専攻 福祉・環境・公共政策コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経済学部	経済学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	293.5	293.5
			兼任担当科目数(B)	0	152.5	152.5
			専兼比率(%)	0.0%	65.8%	65.8%
		教養教育	専任担当科目数(A)	43	216.8	259.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	38.6%
		語学教育	専任担当科目数(A)	4	68	72
			兼任担当科目数(B)	144	341	485
			専兼比率(%)	2.7%	16.6%	12.9%

経済学部 経済学科 現代経済専攻 市場・企業・産業コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経済学部	経済学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	280.5	280.5
			兼任担当科目数(B)	0	165.5	165.5
			専兼比率(%)	0.0%	62.9%	62.9%
		教養教育	専任担当科目数(A)	43	216.8	259.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	38.6%
		語学教育	専任担当科目数(A)	4	68	72
			兼任担当科目数(B)	144	341	485
			専兼比率(%)	2.7%	16.6%	12.9%

経済学部 経済学科 現代経済専攻 国際経済・社会コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
----	----	------	--	------	--------	---------

経済学部	経済学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	286.5	286.5
			兼任担当科目数(B)	0	160.5	160.5
			専兼比率(%)	0.0%	64.1%	64.1%
		教養教育	専任担当科目数(A)	43	216.8	259.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	38.6%
		語学教育	専任担当科目数(A)	4	68	72
			兼任担当科目数(B)	144	341	485
			専兼比率(%)	2.7%	16.6%	12.9%

経済学部 経済学科 経済分析専攻

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経済学部	経済学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	305.5	305.5
			兼任担当科目数(B)	0	165.5	165.5
			専兼比率(%)	0.0%	64.9%	64.9%
		教養教育	専任担当科目数(A)	43	216.8	259.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	38.6%
		語学教育	専任担当科目数(A)	4	68	72
			兼任担当科目数(B)	144	341	485
			専兼比率(%)	2.7%	16.6%	12.9%

経済学部 経済学科 経済分析専攻 政策分析コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経済学部	経済学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	286.5	286.5
			兼任担当科目数(B)	0	144.5	144.5
			専兼比率(%)	0.0%	66.5%	66.5%
		教養教育	専任担当科目数(A)	43	216.8	259.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	38.6%
		語学教育	専任担当科目数(A)	4	68	72
			兼任担当科目数(B)	144	341	485
			専兼比率(%)	2.7%	16.6%	12.9%

経済学部 経済学科 経済分析専攻 データ分析コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経済学部	経済学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	278.5	278.5
			兼任担当科目数(B)	0	147.5	147.5
			専兼比率(%)	0.0%	65.4%	65.4%
		教養教育	専任担当科目数(A)	43	216.8	259.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	38.6%
		語学教育	専任担当科目数(A)	4	68	72
			兼任担当科目数(B)	144	341	485
			専兼比率(%)	2.7%	16.6%	12.9%

経済学部 現代ビジネス／貿易学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経済学部	現代ビジネス／貿易学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	371.5	371.5
			兼任担当科目数(B)	0	183.5	183.5
			専兼比率(%)	0.0%	66.9%	66.9%
		教養教育	専任担当科目数(A)	43	216.8	259.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2

		専兼比率(%)	100.0%	34.4%	38.6%
	語学教育	専任担当科目数(A)	2	68	70
		兼任担当科目数(B)	86	341	427
		専兼比率(%)	2.3%	16.6%	14.1%

経済学部 現代ビジネス学科 貿易・国際ビジネスコース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経済学部	現代ビジネス／貿易 学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	261.5	261.5
			兼任担当科目数(B)	0	145.5	145.5
			専兼比率(%)	0.0%	64.3%	64.3%
		教養教育	専任担当科目数(A)	43	216.8	259.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	38.6%
		語学教育	専任担当科目数(A)	2	68	70
			兼任担当科目数(B)	86	341	427
			専兼比率(%)	2.3%	16.6%	14.1%

経済学部 現代ビジネス学科 経営・マーケティングコース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経済学部	現代ビジネス／貿易 学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	267.5	267.5
			兼任担当科目数(B)	0	152.5	152.5
			専兼比率(%)	0.0%	63.7%	63.7%
		教養教育	専任担当科目数(A)	43	216.8	259.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	38.6%
		語学教育	専任担当科目数(A)	2	68	70
			兼任担当科目数(B)	86	341	427
			専兼比率(%)	2.3%	16.6%	14.1%

経済学部 現代ビジネス学科 企業・会計コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経済学部	現代ビジネス／貿易 学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	267.5	267.5
			兼任担当科目数(B)	0	159.5	159.5
			専兼比率(%)	0.0%	62.6%	62.6%
		教養教育	専任担当科目数(A)	43	216.8	259.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	38.6%
		語学教育	専任担当科目数(A)	2	68	70
			兼任担当科目数(B)	86	341	427
			専兼比率(%)	2.3%	16.6%	14.1%

[注]

- この表は、大学設置基準第10条第1項及び専門職大学設置基準第32条第1項にいう「教育上主要と認める授業科目（主要授業科目）」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 原則として学科単位で記入してください。
- 履修者の有無にかかわらず、カリキュラム上設定された科目はすべて対象となります。
- ここでいう「専任担当科目数」には、他学部、研究科（又はその他の組織）の専任教員による兼担科目も含めてください。
- 大学の設定する区分に応じて、「教育区分」の名称を記入してください。なお、専門職大学及び専門職学科については、専門職大学設置基準第13条又は大学設置基準第42条の9に定める科目を置くことになっているため、これを踏まえながら作表してください。
- 課程を前期・後期で分けている専門職大学にあっては、学科ごとにさらに前期と後期で分けて作表してください。
- 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- Semester制、クォーター制等を採用している場合であっても、通年単位で作成してください。

- 9 1クラスのみ開講される科目を複数の教員が担当する場合は、専任教員と兼任教員の人数比をもとに記載してください。
例①：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任担当科目数0.8、兼任担当科目数0.2
例②：兼任のみ5人で担当の場合は、兼任担当科目数1.0。
- 10 同一科目を複数クラス開講している場合の計算方法は下記の通りです。
①同一教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1.0。
②複数教員による場合→専任教員と兼任教員の人数比による。例えば、すべて専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、専任教員と兼任教員が1名ずつで担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5。

(表4)主要授業科目の担当状況(学士課程)

経済学部 経済学科 国際経済と社会を学ぶコース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経済学部	経済学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	83	83
			兼任担当科目数(B)	0	19	19
			専兼比率(%)	0.0%	81.4%	81.4%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%

経済学部 経済学科 福祉・環境・公共政策を学ぶコース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経済学部	経済学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	83	83
			兼任担当科目数(B)	0	17	17
			専兼比率(%)	0.0%	83.0%	83.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%

経済学部 経済学科 市場・企業・産業を学ぶコース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経済学部	経済学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	81	81
			兼任担当科目数(B)	0	17	17
			専兼比率(%)	0.0%	82.7%	82.7%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%

経済学部 現代ビジネス学科 貿易と国際ビジネスを学ぶコース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経済学部	現代ビジネス／貿易 学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	83	83
			兼任担当科目数(B)	0	13	13
			専兼比率(%)	0.0%	86.5%	86.5%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%

経済学部 現代ビジネス学科 経営とマーケティングを学ぶコース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
----	----	------	--	------	--------	---------

経済学部	現代ビジネス／貿易 学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	83	83
			兼任担当科目数(B)	0	13	13
			専兼比率(%)	0.0%	86.5%	86.5%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%

経済学部 現代ビジネス学科 企業と会計を学ぶコース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経済学部	現代ビジネス／貿易 学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	83	83
			兼任担当科目数(B)	0	13	13
			専兼比率(%)	0.0%	86.5%	86.5%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%

[注]

- この表は、大学設置基準第10条第1項及び専門職大学設置基準第32条第1項にいう「教育上主要と認める授業科目（主要授業科目）」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 原則として学科単位で記入してください。
- 履修者の有無にかかわらず、カリキュラム上設定された科目はすべて対象となります。
- ここでいう「専任担当科目数」には、他学部、研究科（又はその他の組織）の専任教員による兼担科目も含めてください。
- 大学の設定する区分に応じて、「教育区分」の名称を記入してください。なお、専門職大学及び専門職学科については、専門職大学設置基準第13条又は大学設置基準第42条の9に定める科目を置くことになっているため、これを踏まえながら作表してください。
- 課程を前期・後期に分けている専門職大学にあっては、学科ごとにさらに前期と後期に分けて作表してください。
- 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- Semester制、クォーター制等を採用している場合であっても、通年単位で作成してください。
- 1クラスのみ開講される科目を複数の教員が担当する場合は、専任教員と兼任教員の人数比をもとに記載してください。
例①：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任担当科目数0.8、兼任担当科目数0.2
例②：兼任のみ5人で担当の場合は、兼任担当科目数1.0。
- 同一科目を複数クラス開講している場合の計算方法は下記の通りです。
①同一教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1.0。
②複数教員による場合→専任教員と兼任教員の人数比による。例えば、すべて専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、専任教員と兼任教員が1名ずつで担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5。

(表4)主要授業科目の担当状況(学士課程)

経営学部 国際経営学科 国際経営学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
経営学部	国際経営学科	専門教育	専任担当科目数(A)	144	144.2	288.2
			兼任担当科目数(B)	23	123.8	146.8
			専兼比率(%)	86.2%	53.8%	66.2%
		教養教育	専任担当科目数(A)	76.9	41.2	118.1
			兼任担当科目数(B)	13.1	118.9	132.0
			専兼比率(%)	85.4%	25.7%	47.2%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	66.7	66.7
			兼任担当科目数(B)	0	237.3	237.3
			専兼比率(%)	0.0%	21.9%	21.9%

[注]

- この表は、大学設置基準第10条第1項及び専門職大学設置基準第32条第1項にいう「教育上主要と認める授業科目（主要授業科目）」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 原則として学科単位で記入してください。
- 履修者の有無にかかわらず、カリキュラム上設定された科目はすべて対象となります。
- ここでいう「専任担当科目数」には、他学部、研究科（又はその他の組織）の専任教員による兼任科目も含めてください。
- 大学の設定する区分に応じて、「教育区分」の名称を記入してください。なお、専門職大学及び専門職学科については、専門職大学設置基準第13条又は大学設置基準第42条の9に定める科目を置くことになっているため、これを踏まえながら作表してください。
- 課程を前期・後期で分けている専門職大学にあっては、学科ごとにさらに前期と後期で分けて作表してください。
- 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- Semester制、クォーター制等を採用している場合であっても、通年単位で作成してください。
- 1クラスのみ開講される科目を複数の教員が担当する場合は、専任教員と兼任教員の人数比をもとに記載してください。
例①：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任担当科目数0.8、兼任担当科目数0.2
例②：兼任のみ5人で担当の場合は、兼任担当科目数1.0。
- 同一科目を複数クラス開講している場合の計算方法は下記の通りです。
①同一教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1.0。
②複数教員による場合→専任教員と兼任教員の人数比による。例えば、すべて専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、専任教員と兼任教員が1名ずつで担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5。

(表4)主要授業科目の担当状況(学士課程)

外国語学部 英語英文学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
外国語学部	英語英文学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	172	172
			兼任担当科目数(B)	0	224	224
			専兼比率(%)	0.0%	43.4%	43.4%
		教養教育	専任担当科目数(A)	9	216.8	225.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	35.3%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	57	57
			兼任担当科目数(B)	0	240	240
			専兼比率(%)	0.0%	19.2%	19.2%

外国語学部 英語英文学科 IESプログラム

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
外国語学部	英語英文学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	41	41
			兼任担当科目数(B)	0	10	10
			専兼比率(%)	0.0%	80.4%	80.4%
		教養教育	専任担当科目数(A)	9	113.1	122.1
			兼任担当科目数(B)	0	218.9	218.9
			専兼比率(%)	0.0%	34.1%	35.8%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	44	44
			兼任担当科目数(B)	0	189	189
			専兼比率(%)	0.0%	18.9%	18.9%

外国語学部 英語英文学科 IESプログラム 言語コミュニケーション・英語教育コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
外国語学部	英語英文学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	41	41
			兼任担当科目数(B)	0	10	10
			専兼比率(%)	0.0%	80.4%	80.4%
		教養教育	専任担当科目数(A)	9	113.1	122.1
			兼任担当科目数(B)	0	218.9	218.9
			専兼比率(%)	100.0%	34.1%	35.8%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	44	44
			兼任担当科目数(B)	0	189	189
			専兼比率(%)	0.0%	18.9%	18.9%

外国語学部 英語英文学科 IESプログラム 英語圏文学・文化コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
外国語学部	英語英文学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	41	41
			兼任担当科目数(B)	0	10	10
			専兼比率(%)	0.0%	80.4%	80.4%
		教養教育	専任担当科目数(A)	9	113.1	122.1
			兼任担当科目数(B)	0	218.9	218.9
			専兼比率(%)	0.0%	34.1%	35.8%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	44	44
			兼任担当科目数(B)	0	189	189
			専兼比率(%)	0.0%	18.9%	18.9%

外国語学部 英語英文学科 GECプログラム

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
			専任担当科目数(A)	0	35	35

外国語学部	英語英文学科	専門教育	兼任担当科目数(B)	0	6	6
			専兼比率(%)	0.0%	85.4%	85.4%
			専任担当科目数(A)	9	113.1	122.1
		教養教育	兼任担当科目数(B)	0	218.9	218.9
			専兼比率(%)	0.0%	34.1%	35.8%
			専任担当科目数(A)	0	44	44
		語学教育	兼任担当科目数(B)	0	189	189
			専兼比率(%)	0.0%	18.9%	18.9%

外国語学部 スペイン語学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
外国語学部	スペイン語学科	専門教育	専任担当科目数(A)	40.34	59	99.3
			兼任担当科目数(B)	82.66	44	126.7
			専兼比率(%)	32.8%	57.3%	44.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	13	216.8	229.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	35.7%
		語学教育	専任担当科目数(A)	6	65	71
			兼任担当科目数(B)	51	299	350
			専兼比率(%)	10.5%	17.9%	16.9%

外国語学部 スペイン語学科 言語文化コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
外国語学部	スペイン語学科	専門教育	専任担当科目数(A)	6.34	4	10.3
			兼任担当科目数(B)	9.66	6	15.7
			専兼比率(%)	39.6%	40.0%	39.8%
		教養教育	専任担当科目数(A)	13	113.1	126.1
			兼任担当科目数(B)	0	218.9	218.9
			専兼比率(%)	100.0%	34.1%	36.5%
		語学教育	専任担当科目数(A)	2	48	50
			兼任担当科目数(B)	18	189	207
			専兼比率(%)	10.0%	20.3%	19.5%

外国語学部 スペイン語学科 地域文化コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
外国語学部	スペイン語学科	専門教育	専任担当科目数(A)	6.34	4	10.34
			兼任担当科目数(B)	9.66	6	15.66
			専兼比率(%)	39.6%	40.0%	39.8%
		教養教育	専任担当科目数(A)	13	113.1	126.1
			兼任担当科目数(B)	0	218.9	218.9
			専兼比率(%)	100.0%	34.1%	36.5%
		語学教育	専任担当科目数(A)	2	48	50
			兼任担当科目数(B)	18	189	207
			専兼比率(%)	10.0%	20.3%	19.5%

外国語学部 中国語学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
外国語学部	中国語学科	専門教育	専任担当科目数(A)	63.75	26.75	90.5
			兼任担当科目数(B)	33.25	19.25	52.5
			専兼比率(%)	65.7%	58.2%	63.3%
		教養教育	専任担当科目数(A)	12	216.8	228.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	35.6%
			専任担当科目数(A)	6	56	62

		語学教育	兼任担当科目数(B)	51	311	362
			専兼比率(%)	10.5%	15.3%	14.6%

外国語学部 中国語学科 初習中国語

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
外国語学部	中国語学科	専門教育	専任担当科目数(A)	8	0	8
			兼任担当科目数(B)	8	12	20
			専兼比率(%)	50.0%	0.0%	28.6%
		教養教育	専任担当科目数(A)	12	113.1	125.1
			兼任担当科目数(B)	0	218.9	218.9
			専兼比率(%)	100.0%	34.1%	36.4%
		語学教育	専任担当科目数(A)	2	39	41
			兼任担当科目数(B)	18	205	223
			専兼比率(%)	10.0%	16.0%	15.5%

外国語学部 中国語学科 初習中国語 言語コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
外国語学部	中国語学科	専門教育	専任担当科目数(A)	8	1	9
			兼任担当科目数(B)	8	12	20
			専兼比率(%)	50.0%	7.7%	31.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	12	113.1	125.1
			兼任担当科目数(B)	0	218.9	218.9
			専兼比率(%)	100.0%	34.1%	36.4%
		語学教育	専任担当科目数(A)	2	39	41
			兼任担当科目数(B)	18	205	223
			専兼比率(%)	10.0%	16.0%	15.5%

外国語学部 中国語学科 初習中国語 社会文化コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
外国語学部	中国語学科	専門教育	専任担当科目数(A)	8	0	8
			兼任担当科目数(B)	8	12	20
			専兼比率(%)	50.0%	0.0%	28.6%
		教養教育	専任担当科目数(A)	12	113.1	125.1
			兼任担当科目数(B)	0	218.9	218.9
			専兼比率(%)	100.0%	34.1%	36.4%
		語学教育	専任担当科目数(A)	2	39	41
			兼任担当科目数(B)	18	205	223
			専兼比率(%)	10.0%	16.0%	15.5%

外国語学部 中国語学科 既習中国語

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
外国語学部	中国語学科	専門教育	専任担当科目数(A)	2	7.8	9.8
			兼任担当科目数(B)	2	13.3	15.3
			専兼比率(%)	50.0%	36.9%	39.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	12	113.08	125.1
			兼任担当科目数(B)	0	218.92	218.9
			専兼比率(%)	100.0%	34.1%	36.4%
		語学教育	専任担当科目数(A)	2	39	41
			兼任担当科目数(B)	18	205	223
			専兼比率(%)	10.0%	16.0%	15.5%

外国語学部 中国語学科 既習中国語 言語コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
			専任担当科目数(A)	2	7.8	9.8

外国語学部	中国語学科	専門教育	兼任担当科目数(B)	2	13.3	15.3
			専兼比率(%)	50.0%	36.9%	39.0%
			専任担当科目数(A)	12	113.1	125.1
		教養教育	兼任担当科目数(B)	0	218.9	218.9
			専兼比率(%)	100.0%	34.1%	36.4%
			専任担当科目数(A)	2	39	41
		語学教育	兼任担当科目数(B)	18	205	223
			専兼比率(%)	10.0%	16.0%	15.5%

外国語学部 中国語学科 既習中国語 社会文化コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
外国語学部	中国語学科	専門教育	専任担当科目数(A)	2	7.8	9.8
			兼任担当科目数(B)	2	13.3	15.3
			専兼比率(%)	50.0%	36.9%	39.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	12	113.1	125.1
			兼任担当科目数(B)	0	218.9	218.9
			専兼比率(%)	100.0%	34.1%	36.4%
		語学教育	専任担当科目数(A)	2	39	41
			兼任担当科目数(B)	18	205	223
			専兼比率(%)	10.0%	16.0%	15.5%

[注]

- この表は、大学設置基準第10条第1項及び専門職大学設置基準第32条第1項にいう「教育上主要と認める授業科目（主要授業科目）」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 原則として学科単位で記入してください。
- 履修者の有無にかかわらず、カリキュラム上設定された科目はすべて対象となります。
- ここでいう「専任担当科目数」には、他学部、研究科（又はその他の組織）の専任教員による兼担科目も含めてください。
- 大学の設定する区分に応じて、「教育区分」の名称を記入してください。なお、専門職大学及び専門職学科については、専門職大学設置基準第13条又は大学設置基準第42条の9に定める科目を置くことになっているため、これを踏まえながら作表してください。
- 課程を前期・後期で分けている専門職大学にあっては、学科ごとにさらに前期と後期で分けて作表してください。
- 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- Semester制、クォーター制等を採用している場合であっても、通年単位で作成してください。
- 1クラスのみ開講される科目を複数の教員が担当する場合は、専任教員と兼任教員の人数比をもとに記載してください。
例①：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任担当科目数0.8、兼任担当科目数0.2
例②：兼任のみ5人で担当の場合は、兼任担当科目数1.0。
- 同一科目を複数クラス開講している場合の計算方法は下記の通りです。
①同一教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1.0。
②複数教員による場合→専任教員と兼任教員の人数比による。例えば、すべて専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、専任教員と兼任教員が1名ずつで担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5。

(表4)主要授業科目の担当状況(学士課程)

外国語学部 英語英文学科 英語学・英語教育コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
外国語学部	英語英文学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	127	127
			兼任担当科目数(B)	0	204	204
			専兼比率(%)	0.0%	38.4%	38.4%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	103.7	103.7
			兼任担当科目数(B)	0	194.3	194.3
			専兼比率(%)	0.0%	34.8%	34.8%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	13	13
			兼任担当科目数(B)	0	51	51
			専兼比率(%)	0.0%	20.3%	20.3%

外国語学部 英語英文学科 英語圏文学コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
外国語学部	英語英文学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	127	127
			兼任担当科目数(B)	0	204	204
			専兼比率(%)	0.0%	38.4%	38.4%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	103.7	103.7
			兼任担当科目数(B)	0	194.3	194.3
			専兼比率(%)	0.0%	34.8%	34.8%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	13	13
			兼任担当科目数(B)	0	51	51
			専兼比率(%)	0.0%	20.3%	20.3%

外国語学部 英語英文学科 英語圏文化コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
外国語学部	英語英文学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	127	127
			兼任担当科目数(B)	0	204	204
			専兼比率(%)	0.0%	38.4%	38.4%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	103.7	103.7
			兼任担当科目数(B)	0	194.3	194.3
			専兼比率(%)	0.0%	34.8%	34.8%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	13	13
			兼任担当科目数(B)	0	51	51
			専兼比率(%)	0.0%	20.3%	20.3%

外国語学部 中国語学科 言語コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
外国語学部	中国語学科	専門教育	専任担当科目数(A)	51.5	19	70.5
			兼任担当科目数(B)	22.5	12	34.5
			専兼比率(%)	69.6%	61.3%	67.1%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	103.7	103.7
			兼任担当科目数(B)	0	194.3	194.3
			専兼比率(%)	0.0%	34.8%	34.8%
		語学教育	専任担当科目数(A)	4	17	21
			兼任担当科目数(B)	33	106	139
			専兼比率(%)	10.8%	13.8%	13.1%

外国語学部 中国語学科 社会文化コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
----	----	------	--	------	--------	---------

外国語学部	中国語学科	専門教育	専任担当科目数(A)	53.75	19	72.75
			兼任担当科目数(B)	23.25	12	35.25
			専兼比率(%)	69.8%	61.3%	67.4%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	103.7	103.7
			兼任担当科目数(B)	0	194.3	194.3
			専兼比率(%)	0.0%	34.8%	34.8%
		語学教育	専任担当科目数(A)	4	17	21
			兼任担当科目数(B)	33	106	139
			専兼比率(%)	10.8%	13.8%	13.1%

外国語学部 国際文化交流学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
外国語学部	国際文化交流学科	専門教育	専任担当科目数(A)	66	213	279
			兼任担当科目数(B)	0	79	79
			専兼比率(%)	100.0%	72.9%	77.9%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	103.7	103.7
			兼任担当科目数(B)	0	194.3	194.3
			専兼比率(%)	0.0%	34.8%	34.8%
		語学教育	専任担当科目数(A)	4	7	11
			兼任担当科目数(B)	33	112	145
			専兼比率(%)	10.8%	5.9%	7.1%

[注]

- この表は、大学設置基準第10条第1項及び専門職大学設置基準第32条第1項にいう「教育上主要と認める授業科目（主要授業科目）」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 原則として学科単位で記入してください。
- 履修者の有無にかかわらず、カリキュラム上設定された科目はすべて対象となります。
- ここでいう「専任担当科目数」には、他学部、研究科（又はその他の組織）の専任教員による兼担科目も含めてください。
- 大学の設定する区分に応じて、「教育区分」の名称を記入してください。なお、専門職大学及び専門職学科については、専門職大学設置基準第13条又は大学設置基準第42条の9に定める科目を置くことになっているため、これを踏まえながら作表してください。
- 課程を前期・後期に分けている専門職大学にあっては、学科ごとにさらに前期と後期に分けて作表してください。
- 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- Semester制、クォーター制等を採用している場合であっても、通年単位で作成してください。
- 1クラスのみ開講される科目を複数の教員が担当する場合は、専任教員と兼任教員の人数比をもとに記載してください。
例①：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任担当科目数0.8、兼任担当科目数0.2
例②：兼任のみ5人で担当の場合は、兼任担当科目数1.0。
- 同一科目を複数クラス開講している場合の計算方法は下記の通りです。
①同一教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1.0。
②複数教員による場合→専任教員と兼任教員の人数比による。例えば、すべて専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、専任教員と兼任教員が1名ずつで担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5。

(表4)主要授業科目の担当状況(学士課程)

国際日本学部 国際文化交流学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
国際日本学部	国際文化交流学科	専門教育	専任担当科目数(A)	4	135.8	139.8
			兼任担当科目数(B)	0	61.3	61.3
			専兼比率(%)	100.0%	68.9%	69.5%
		教養教育	専任担当科目数(A)	8	113.1	121.1
			兼任担当科目数(B)	0	218.9	218.9
			専兼比率(%)	100.0%	34.1%	35.6%
		語学教育	専任担当科目数(A)	4	47	51
			兼任担当科目数(B)	32	223	255
			専兼比率(%)	11.1%	17.4%	16.7%

国際日本学部 国際文化交流学科 文化交流コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
国際日本学部	国際文化交流学科	専門教育	専任担当科目数(A)	4	135.8	139.8
			兼任担当科目数(B)	0	61.3	61.3
			専兼比率(%)	100.0%	68.9%	69.5%
		教養教育	専任担当科目数(A)	8	113.1	121.1
			兼任担当科目数(B)	0	218.9	218.9
			専兼比率(%)	100.0%	34.1%	35.6%
		語学教育	専任担当科目数(A)	4	47	51
			兼任担当科目数(B)	32	223	255
			専兼比率(%)	11.1%	17.4%	16.7%

国際日本学部 国際文化交流学科 観光文化コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
国際日本学部	国際文化交流学科	専門教育	専任担当科目数(A)	4	135.8	139.8
			兼任担当科目数(B)	0	61.3	61.3
			専兼比率(%)	100.0%	68.9%	69.5%
		教養教育	専任担当科目数(A)	8	113.1	121.1
			兼任担当科目数(B)	0	218.9	218.9
			専兼比率(%)	100.0%	34.1%	35.6%
		語学教育	専任担当科目数(A)	4	47	51
			兼任担当科目数(B)	32	223	255
			専兼比率(%)	11.1%	17.4%	16.7%

国際日本学部 国際文化交流学科 言語・メディアコース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
国際日本学部	国際文化交流学科	専門教育	専任担当科目数(A)	4	135.8	139.8
			兼任担当科目数(B)	0	61.3	61.3
			専兼比率(%)	1.0%	68.9%	69.5%
		教養教育	専任担当科目数(A)	8	113.1	121.1
			兼任担当科目数(B)	0	218.9	218.9
			専兼比率(%)	100.0%	34.1%	35.6%
		語学教育	専任担当科目数(A)	4	47	51
			兼任担当科目数(B)	32	223	255
			専兼比率(%)	11.1%	17.4%	16.7%

国際日本学部 国際文化交流学科 国際日本学コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
----	----	------	--	------	--------	---------

国際日本学部	国際文化交流学科	専門教育	専任担当科目数(A)	4	135.8	139.8
			兼任担当科目数(B)	0	61.3	61.3
			専兼比率(%)	100.0%	68.9%	69.5%
		教養教育	専任担当科目数(A)	8	113.1	121.1
			兼任担当科目数(B)	0	218.9	218.9
			専兼比率(%)	100.0%	34.1%	35.6%
		語学教育	専任担当科目数(A)	4	47	51
			兼任担当科目数(B)	32	223	255
			専兼比率(%)	11.1%	17.4%	16.7%

国際日本学部 日本文化学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
国際日本学部	日本文化学科	専門教育	専任担当科目数(A)	7	45.8	52.8
			兼任担当科目数(B)	0	15.3	15.3
			専兼比率(%)	100.0%	75.0%	77.6%
		教養教育	専任担当科目数(A)	3	113.1	116.1
			兼任担当科目数(B)	0	218.9	218.9
			専兼比率(%)	100.0%	34.1%	34.7%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	51	51
			兼任担当科目数(B)	0	243	243
			専兼比率(%)	0.0%	17.3%	17.3%

国際日本学部 歴史民俗学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
国際日本学部	歴史民俗学科	専門教育	専任担当科目数(A)	7.25	45	52.3
			兼任担当科目数(B)	0.75	20	20.8
			専兼比率(%)	90.6%	69.2%	71.6%
		教養教育	専任担当科目数(A)	3	113.1	116.1
			兼任担当科目数(B)	0	218.9	218.9
			専兼比率(%)	100.0%	34.1%	34.7%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	51	51
			兼任担当科目数(B)	12	235	247
			専兼比率(%)	0.0%	17.8%	17.1%

[注]

- この表は、大学設置基準第10条第1項及び専門職大学設置基準第32条第1項にいう「教育上主要と認める授業科目（主要授業科目）」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 原則として学科単位で記入してください。
- 履修者の有無にかかわらず、カリキュラム上設定された科目はすべて対象となります。
- ここでいう「専任担当科目数」には、他学部、研究科（又はその他の組織）の専任教員による兼任科目も含めてください。
- 大学の設定する区分に応じて、「教育区分」の名称を記入してください。なお、専門職大学及び専門職学科については、専門職大学設置基準第13条又は大学設置基準第42条の9に定める科目を置くことになっているため、これを踏まえながら作表してください。
- 課程を前期・後期で分けている専門職大学にあっては、学科ごとにさらに前期と後期で分けて作表してください。
- 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- Semester制、クォーター制等を採用している場合であっても、通年単位で作成してください。
- 1クラスのみ開講される科目を複数の教員が担当する場合は、専任教員と兼任教員の人数比をもとに記載してください。
例①：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任担当科目数0.8、兼任担当科目数0.2
例②：兼任のみ5人で担当の場合は、兼任担当科目数1.0。
- 同一科目を複数クラス開講している場合の計算方法は下記の通りです。
①同一教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1.0。
②複数教員による場合→専任教員と兼任教員の人数比による。例えば、すべて専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、専任教員と兼任教員が1名ずつで担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5。

(表4)主要授業科目の担当状況(学士課程)

人間科学部 人間科学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
人間科学部	人間科学科	専門教育	専任担当科目数(A)	162	125.4	287.4
			兼任担当科目数(B)	15	102.6	117.6
			専兼比率(%)	91.5%	55.0%	71.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	14	216.8	230.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	35.8%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	68	68
			兼任担当科目数(B)	78	341	419
			専兼比率(%)	0.0%	16.6%	14.0%

人間科学部 人間科学科 心理発達コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
人間科学部	人間科学科	専門教育	専任担当科目数(A)	165.2	122.3	287.4
			兼任担当科目数(B)	16.82	100.8	117.6
			専兼比率(%)	90.8%	54.8%	71.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	14	216.8	230.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	35.8%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	68	68
			兼任担当科目数(B)	78	341	419
			専兼比率(%)	0.0%	16.6%	14.0%

人間科学部 人間科学科 スポーツ健康コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
人間科学部	人間科学科	専門教育	専任担当科目数(A)	162.5	124.9	287.4
			兼任担当科目数(B)	15.5	102.1	117.6
			専兼比率(%)	91.3%	55.0%	71.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	14	216.8	230.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	35.8%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	68	68
			兼任担当科目数(B)	78	341	419
			専兼比率(%)	0.0%	16.6%	14.0%

人間科学部 人間科学科 人間社会コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
人間科学部	人間科学科	専門教育	専任担当科目数(A)	164	123.4	287.4
			兼任担当科目数(B)	15	102.6	117.6
			専兼比率(%)	91.6%	54.6%	71.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	14	216.8	230.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	35.8%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	68	68
			兼任担当科目数(B)	78	341	419
			専兼比率(%)	0.0%	16.6%	14.0%

[注]

- 1 この表は、大学設置基準第10条第1項及び専門職大学設置基準第32条第1項にいう「教育上主要と認める授業科目（主要授業科目）」についての専任教員の担当状況を示すものです。

- 2 原則として学科単位で記入してください。
- 3 履修者の有無にかかわらず、カリキュラム上設定された科目はすべて対象となります。
- 4 ここでいう「専任担当科目数」には、他学部、研究科（又はその他の組織）の専任教員による兼任科目も含めてください。
- 5 大学の設定する区分に応じて、「教育区分」の名称を記入してください。なお、専門職大学及び専門職学科については、専門職大学設置基準第13条又は大学設置基準第42条の9に定める科目を置くことになっているため、これを踏まえながら作表してください。
- 6 課程を前期・後期で分けている専門職大学にあつては、学科ごとにさらに前期と後期で分けて作表してください。
- 7 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- 8 セメスター制、クォーター制等を採用している場合であっても、通年単位で作成してください。
- 9 1クラスのみ開講される科目を複数の教員が担当する場合は、専任教員と兼任教員の人数比をもとに記載してください。
例①：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任担当科目数0.8、兼任担当科目数0.2
例②：兼任のみ5人で担当の場合は、兼任担当科目数1.0。
- 10 同一科目を複数クラス開講している場合の計算方法は下記の通りです。
①同一教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1.0。
②複数教員による場合→専任教員と兼任教員の人数比による。例えば、すべて専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、専任教員と兼任教員が1名ずつで担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5。

(表4)主要授業科目の担当状況(学士課程)

理学部 数理・物理学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
理学部	数理・物理学科	専門教育	専任担当科目数(A)	101	120.0	221.0
			兼任担当科目数(B)	2	31.0	33.0
			専兼比率(%)	98.1%	79.4%	87.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	4	44.8	48.8
			兼任担当科目数(B)	0	133.2	133.2
			専兼比率(%)	100.0%	25.2%	26.8%
		語学教育	専任担当科目数(A)	17.5	23.7	41.2
			兼任担当科目数(B)	42.5	120.3	162.8
			専兼比率(%)	29.2%	16.4%	20.2%

理学部 数理・物理学科 数理コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
理学部	数理・物理学科	専門教育	専任担当科目数(A)	101	120.0	221.0
			兼任担当科目数(B)	2	31.0	33.0
			専兼比率(%)	98.1%	79.4%	87.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	4	44.8	48.8
			兼任担当科目数(B)	0	133.2	133.2
			専兼比率(%)	100.0%	25.2%	26.8%
		語学教育	専任担当科目数(A)	17.5	23.7	41.2
			兼任担当科目数(B)	42.5	120.3	162.8
			専兼比率(%)	29.2%	16.4%	20.2%

理学部 数理・物理学科 物理コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
理学部	数理・物理学科	専門教育	専任担当科目数(A)	101	120.0	221.0
			兼任担当科目数(B)	2	31.0	33.0
			専兼比率(%)	98.1%	79.4%	87.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	4	44.8	48.8
			兼任担当科目数(B)	0	133.2	133.2
			専兼比率(%)	100.0%	25.2%	26.8%
		語学教育	専任担当科目数(A)	17.5	23.7	41.2
			兼任担当科目数(B)	42.5	120.3	162.8
			専兼比率(%)	29.2%	16.4%	20.2%

理学部 数理・物理学科 総合理学プログラム

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
理学部	数理・物理学科	専門教育	専任担当科目数(A)	69.3	35.3	104.6
			兼任担当科目数(B)	0.67	13.8	14.4
			専兼比率(%)	99.0%	71.9%	87.9%
		教養教育	専任担当科目数(A)	5	44.8	49.8
			兼任担当科目数(B)	0	133.2	133.2
			専兼比率(%)	100.0%	25.2%	27.2%
		語学教育	専任担当科目数(A)	17.5	23.7	41.2
			兼任担当科目数(B)	42.5	120.3	162.8
			専兼比率(%)	29.2%	16.4%	20.2%

理学部 情報科学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
----	----	------	--	------	--------	---------

理学部	情報科学科	専門教育	専任担当科目数(A)	94.7	62.4	157.1
			兼任担当科目数(B)	0.33	18.6	18.9
			専兼比率(%)	99.7%	77.1%	89.3%
		教養教育	専任担当科目数(A)	5	44.8	49.8
			兼任担当科目数(B)	0	133.2	133.2
			専兼比率(%)	100.0%	25.2%	27.2%
		語学教育	専任担当科目数(A)	17.5	23.7	41.2
			兼任担当科目数(B)	42.5	120.3	162.8
			専兼比率(%)	29.2%	16.4%	20.2%

理学部 情報科学科 総合理学プログラム

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
理学部	情報科学科	専門教育	専任担当科目数(A)	58.3	36.3	94.6
			兼任担当科目数(B)	0.67	13.8	14.4
			専兼比率(%)	98.9%	72.5%	86.8%
		教養教育	専任担当科目数(A)	5	44.8	49.8
			兼任担当科目数(B)	0	133.2	133.2
			専兼比率(%)	100.0%	25.2%	27.2%
		語学教育	専任担当科目数(A)	17.5	23.7	41.2
			兼任担当科目数(B)	42.5	120.3	162.8
			専兼比率(%)	29.2%	16.4%	20.2%

理学部 化学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
理学部	化学科	専門教育	専任担当科目数(A)	111.5	75.9	187.4
			兼任担当科目数(B)	3.5	31.1	34.6
			専兼比率(%)	97.0%	71.0%	84.4%
		教養教育	専任担当科目数(A)	5	44.8	49.8
			兼任担当科目数(B)	0	133.2	133.2
			専兼比率(%)	100.0%	25.2%	27.2%
		語学教育	専任担当科目数(A)	17.5	23.7	41.2
			兼任担当科目数(B)	42.5	120.3	162.8
			専兼比率(%)	29.2%	16.4%	20.2%

理学部 化学科 総合理学プログラム

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
理学部	化学科	専門教育	専任担当科目数(A)	55.3	35.3	90.6
			兼任担当科目数(B)	0.67	13.8	14.4
			専兼比率(%)	98.8%	71.9%	86.3%
		教養教育	専任担当科目数(A)	5	44.8	49.8
			兼任担当科目数(B)	0	133.2	133.2
			専兼比率(%)	100.0%	25.2%	27.2%
		語学教育	専任担当科目数(A)	17.5	23.67	41.17
			兼任担当科目数(B)	42.5	120.33	162.83
			専兼比率(%)	29.2%	16.4%	20.2%

理学部 応用生物科学科/生物科学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
理学部	応用生物科学科/ 生物科学科	専門教育	専任担当科目数(A)	95.2	73.33	168.49
			兼任担当科目数(B)	3.84	24.67	28.51
			専兼比率(%)	96.1%	74.8%	85.5%
		教養教育	専任担当科目数(A)	5	44.83	49.83
			兼任担当科目数(B)	0	133.17	133.17

		専任担当科目数(A)	100.0%	25.2%	27.2%
	語学教育	兼任担当科目数(B)	17.5	23.67	41.17
		専任担当科目数(A)	42.5	120.33	162.83
		兼任担当科目数(B)	29.2%	16.4%	20.2%

理学部 生物科学科 生化学・分子生物学(A)コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
理学部	応用生物科学科／ 生物科学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	1	1
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専任比率(%)	0.0%	100.0%	100.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	3	3
			兼任担当科目数(B)	0	1	1
			専任比率(%)	0.0%	75.0%	75.0%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	2	2
			専任比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%

理学部 生物科学科 個体・細胞生物学(B)コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
理学部	応用生物科学科／ 生物科学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	1	1
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専任比率(%)	0.0%	100.0%	100.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	3	3
			兼任担当科目数(B)	0	1	1
			専任比率(%)	0.0%	75.0%	75.0%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	2	2
			専任比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%

理学部 生物科学科 自然史・生態学(C)コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
理学部	応用生物科学科／ 生物科学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	1	1
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専任比率(%)	0.0%	100.0%	100.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	3	3
			兼任担当科目数(B)	0	1	1
			専任比率(%)	0.0%	75.0%	75.0%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	2	2
			専任比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%

理学部 生物科学科 総合理学プログラム

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
理学部	応用生物科学科／ 生物科学科	専門教育	専任担当科目数(A)	59.3	35.25	94.58
			兼任担当科目数(B)	0.67	13.75	14.42
			専任比率(%)	98.9%	71.9%	86.8%
		教養教育	専任担当科目数(A)	5	44.83	49.83
			兼任担当科目数(B)	0	133.17	133.17
			専任比率(%)	100.0%	25.2%	27.2%
		語学教育	専任担当科目数(A)	17.5	23.67	41.17
			兼任担当科目数(B)	42.5	120.33	162.83
			専任比率(%)	29.2%	16.4%	20.2%

理学部 総合理学プログラム

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
理学部	総合理学プログラム	専門教育	専任担当科目数(A)	209.3	201.59	410.92
			兼任担当科目数(B)	0.67	37.41	38.08
			専兼比率(%)	99.7%	84.3%	91.5%
		教養教育	専任担当科目数(A)	5	44.83	49.83
			兼任担当科目数(B)	0	133.17	133.17
			専兼比率(%)	100.0%	25.2%	27.2%
		語学教育	専任担当科目数(A)	17.5	23.67	41.17
			兼任担当科目数(B)	42.5	120.33	162.83
			専兼比率(%)	29.2%	16.4%	20.2%

[注]

- この表は、大学設置基準第10条第1項及び専門職大学設置基準第32条第1項にいう「教育上主要と認める授業科目（主要授業科目）」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 原則として学科単位で記入してください。
- 履修者の有無にかかわらず、カリキュラム上設定された科目はすべて対象となります。
- ここでいう「専任担当科目数」には、他学部、研究科（又はその他の組織）の専任教員による兼任科目も含めてください。
- 大学の設定する区分に応じて、「教育区分」の名称を記入してください。なお、専門職大学及び専門職学科については、専門職大学設置基準第13条又は大学設置基準第42条の9に定める科目を置くことになっているため、これを踏まえながら作表してください。
- 課程を前期・後期で分けている専門職大学にあっては、学科ごとにさらに前期と後期で分けて作表してください。
- 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- Semester制、クォーター制等を採用している場合であっても、通年単位で作成してください。
- 1クラスのみ開講される科目を複数の教員が担当する場合は、専任教員と兼任教員の人数比をもとに記載してください。
例①：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任担当科目数0.8、兼任担当科目数0.2
例②：兼任のみ5人で担当の場合は、兼任担当科目数1.0。
- 同一科目を複数クラス開講している場合の計算方法は下記の通りです。
①同一教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1.0。
②複数教員による場合→専任教員と兼任教員の人数比による。例えば、すべて専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、専任教員と兼任教員が1名ずつで担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5。

(表4)主要授業科目の担当状況(学士課程)

工学部 機械工学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
工学部	機械工学科	専門教育	専任担当科目数(A)	95.3	39.9	135.2
			兼任担当科目数(B)	11.7	24.1	35.8
			専兼比率(%)	89.1%	62.3%	79.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	8	216.78	224.78
			兼任担当科目数(B)	0	413.22	413.22
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	35.2%
		語学教育	専任担当科目数(A)	3.34	68	71.34
			兼任担当科目数(B)	28.66	341	369.66
			専兼比率(%)	10.4%	16.6%	16.2%

工学部 機械工学科 総合工学プログラム

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
工学部	機械工学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	179.3	179.3
			兼任担当科目数(B)	0	65.7	65.7
			専兼比率(%)	0.0%	73.2%	73.2%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	216.8	216.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	0.0%	34.4%	34.4%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	68	68
			兼任担当科目数(B)	8	304	312
			専兼比率(%)	0.0%	18.3%	17.9%

工学部 電子情報フロンティア／電気電子情報工／電気工学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
工学部	電子情報フロンティア／ 電気電子情報工／ 電気工学科	専門教育	専任担当科目数(A)	90.4	43.7	134.1
			兼任担当科目数(B)	13.6	27.3	40.9
			専兼比率(%)	86.9%	61.5%	76.6%
		教養教育	専任担当科目数(A)	8	216.8	224.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	35.2%
		語学教育	専任担当科目数(A)	4	68	72
			兼任担当科目数(B)	44	341	385
			専兼比率(%)	8.3%	16.6%	15.8%

工学部 電気電子情報工学科 総合工学プログラム

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
工学部	電子情報フロンティア／ 電気電子情報工／ 電気工学科	専門教育	専任担当科目数(A)	345.8	0	345.78
			兼任担当科目数(B)	6.2	0	6.22
			専兼比率(%)	98.2%	0.0%	98.2%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	216.8	216.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	0.0%	34.4%	34.4%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	68	68
			兼任担当科目数(B)	8	304	312
			専兼比率(%)	0.0%	18.3%	17.9%

工学部 物質生命化／応用化学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
----	----	------	--	------	--------	---------

工学部	物質生命化／応用 化学科	専門教育	専任担当科目数(A)	99.5	51.4	150.9
			兼任担当科目数(B)	6.5	36.6	43.1
			専兼比率(%)	93.9%	58.4%	77.8%
		教養教育	専任担当科目数(A)	8	216.8	224.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	35.2%
		語学教育	専任担当科目数(A)	4	68	72
			兼任担当科目数(B)	30	341	371
			専兼比率(%)	11.8%	16.6%	16.3%

工学部 物質生命化学科 総合工学プログラム

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
工学部	物質生命化／応用 化学科	専門教育	専任担当科目数(A)	345.8	0.0	345.8
			兼任担当科目数(B)	6.2	0.0	6.2
			専兼比率(%)	98.2%	0.0%	98.2%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	216.8	216.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	0.0%	34.4%	34.4%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	68	68
			兼任担当科目数(B)	8	304	312
			専兼比率(%)	0.0%	18.3%	17.9%

工学部 情報システム創成／経営工学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
工学部	情報システム創成／ 経営工学科	専門教育	専任担当科目数(A)	82.4	88.5	170.93
			兼任担当科目数(B)	10.6	13.5	24.07
			専兼比率(%)	88.6%	86.8%	87.7%
		教養教育	専任担当科目数(A)	5	216.8	221.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	34.9%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	68	68
			兼任担当科目数(B)	28	341	369
			専兼比率(%)	0.0%	16.6%	15.6%

工学部 情報システム創成学科 総合工学プログラム

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
工学部	情報システム創成／ 経営工学科	専門教育	専任担当科目数(A)	345.8	0.0	345.8
			兼任担当科目数(B)	6.2	0.0	6.2
			専兼比率(%)	98.2%	0.0%	98.2%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	216.8	216.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	0.0%	34.4%	34.4%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	68	68
			兼任担当科目数(B)	8	304	312
			専兼比率(%)	0.0%	18.3%	17.9%

工学部 建築学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
工学部	建築学科	専門教育	専任担当科目数(A)	85.9	54.0	139.9
			兼任担当科目数(B)	20.1	32.1	52.1
			専兼比率(%)	81.1%	62.7%	72.8%
		教養教育	専任担当科目数(A)	7	216.8	223.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2

			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	35.1%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	68	68
			兼任担当科目数(B)	40	341	381
			専兼比率(%)	0.0%	16.6%	15.1%

工学部 建築学科 建築環境コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
工学部	建築学科	専門教育	専任担当科目数(A)	84.9	54.0	138.9
			兼任担当科目数(B)	17.1	32.1	49.1
			専兼比率(%)	83.3%	62.7%	73.9%
		教養教育	専任担当科目数(A)	7	216.8	223.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	35.1%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	68	68
			兼任担当科目数(B)	40	341	381
			専兼比率(%)	0.0%	16.6%	15.1%

工学部 建築学科 建築構造コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
工学部	建築学科	専門教育	専任担当科目数(A)	85.7	54.2	139.9
			兼任担当科目数(B)	16.3	31.8	48.1
			専兼比率(%)	84.0%	63.0%	74.4%
		教養教育	専任担当科目数(A)	7	216.8	223.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	35.1%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	68	68
			兼任担当科目数(B)	40	341	381
			専兼比率(%)	0.0%	16.6%	15.1%

工学部 建築学科 建築デザインコース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
工学部	建築学科	専門教育	専任担当科目数(A)	73.1	65.8	138.9
			兼任担当科目数(B)	8.9	40.2	49.1
			専兼比率(%)	89.1%	62.1%	73.9%
		教養教育	専任担当科目数(A)	7	216.8	223.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	35.1%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	68	68
			兼任担当科目数(B)	40	341	381
			専兼比率(%)	0.0%	16.6%	15.1%

工学部 建築学科 総合工学プログラム

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
工学部	建築学科	専門教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	216.8	216.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	0.0%	34.4%	34.4%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	68	68
			兼任担当科目数(B)	8	304	312
			専兼比率(%)	0.0%	18.3%	17.9%

工学部 経営工学科

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
工学部	経営工学科	専門教育	専任担当科目数(A)	63.3	48.4	111.6
			兼任担当科目数(B)	6.7	37.6	44.4
			専兼比率(%)	90.4%	56.2%	71.6%
		教養教育	専任担当科目数(A)	5	216.8	221.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	34.9%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	68	68
			兼任担当科目数(B)	20	341	361
			専兼比率(%)	0.0%	16.6%	15.9%

工学部 経営工学科 総合工学プログラム

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
工学部	経営工学科	専門教育	専任担当科目数(A)	345.8	0	345.8
			兼任担当科目数(B)	6.2	0	6.2
			専兼比率(%)	98.2%	0.0%	98.2%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	216.8	216.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	0.0%	34.4%	34.4%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	68	68
			兼任担当科目数(B)	8	304	312
			専兼比率(%)	0.0%	18.3%	17.9%

工学部 総合工学プログラム

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
工学部	総合工学プログラム	専門教育	専任担当科目数(A)	345.8	287.0	632.8
			兼任担当科目数(B)	6.2	94.0	100.2
			専兼比率(%)	98.2%	75.3%	86.3%
		教養教育	専任担当科目数(A)	5	216.8	221.8
			兼任担当科目数(B)	0	413.2	413.2
			専兼比率(%)	100.0%	34.4%	34.9%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	68	68
			兼任担当科目数(B)	8	304	312
			専兼比率(%)	0.0%	18.3%	17.9%

工学部 総合工学プログラム 環境・エネルギー工学コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
工学部	総合工学プログラム	専門教育	専任担当科目数(A)	0	1.9	1.9
			兼任担当科目数(B)	0	0.1	0.1
			専兼比率(%)	0.0%	96.0%	96.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%

工学部 総合工学プログラム 生体機能・医用工学コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
		専門教育	専任担当科目数(A)	0	1.9	1.9
			兼任担当科目数(B)	0	0.1	0.1
			専兼比率(%)	0.0%	96.0%	96.0%

工学部	総合工学プログラム	教養教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%

工学部 総合工学プログラム コンピュータ応用工学コース

学部	学科	教育区分		必修科目	選択必修科目	全開設授業科目
工学部	総合工学プログラム	専門教育	専任担当科目数(A)	0	1.9	1.9
			兼任担当科目数(B)	0	0.1	0.1
			専兼比率(%)	0.0%	96.0%	96.0%
		教養教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
		語学教育	専任担当科目数(A)	0	0	0
			兼任担当科目数(B)	0	0	0
			専兼比率(%)	0.0%	0.0%	0.0%

[注]

- この表は、大学設置基準第10条第1項及び専門職大学設置基準第32条第1項にいう「教育上主要と認める授業科目（主要授業科目）」についての専任教員の担当状況を示すものです。
- 原則として学科単位で記入してください。
- 履修者の有無にかかわらず、カリキュラム上設定された科目はすべて対象となります。
- ここでいう「専任担当科目数」には、他学部、研究科（又はその他の組織）の専任教員による兼担科目も含めてください。
- 大学の設定する区分に応じて、「教育区分」の名称を記入してください。なお、専門職大学及び専門職学科については、専門職大学設置基準第13条又は大学設置基準第42条の9に定める科目を置くことになっているため、これを踏まえながら作表してください。
- 課程を前期・後期で分けている専門職大学にあっては、学科ごとにさらに前期と後期で分けて作表してください。
- 「全開設授業科目」欄には、「必修科目」「選択必修科目」のほか、「選択科目」「自由科目」など、すべての授業科目数の合計を記入してください。「必修科目」と「選択必修科目」の合計ではありません。
- Semester制、クォーター制等を採用している場合であっても、通年単位で作成してください。
- 1クラスのみ開講される科目を複数の教員が担当する場合は、専任教員と兼任教員の人数比をもとに記載してください。
例①：専任4人、兼任1人で担当の場合は、専任担当科目数0.8、兼任担当科目数0.2
例②：兼任のみ5人で担当の場合は、兼任担当科目数1.0。
- 同一科目を複数クラス開講している場合の計算方法は下記の通りです。
①同一教員による場合→専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、兼任教員が担当した場合は兼任担当科目数1.0。
②複数教員による場合→専任教員と兼任教員の人数比による。例えば、すべて専任教員が担当した場合は専任担当科目数1.0、専任教員と兼任教員が1名ずつで担当した場合は、専任担当科目数0.5、兼任担当科目数0.5。